

あべともこニュース

戦争止めて、暮らしを守ろう！

◆石油危機にしっかり備えを

アメリカとイスラエルが国際法を無視し、イランの核武装を未然に防ぐとして始めたイラン戦争は、イランによるホルムズ海峡の通行制限によって、石油危機の様相を見せ始めました。取り分け中東の石油に頼るアジアでは、各国が使用制限を含めた対策に追われています。

日本でも政府は大丈夫、対策していると繰り返しますが、既に石油製品の材料となるナフサの不足で、生産やご商売、生活に影響が始めました。お風呂のバスタブからクリーニング屋さんの袋、医療用の手袋、チューブ、スパーのトレイ等も。

アメリカとイランの停戦交渉も先行き不透明な中、アメリカもホルムズ海峡封鎖を主張し、イランも再封鎖を宣言するなど、不穏な状況です。早急な停戦と共に、戦争による破壊で今後石油生産への影響が長引くことも十分あり得ますから、本腰の対策が必要です。



前衆議院議員あべともこプロフィール
当選 9 回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともここどもクリニック（湘南台）理事長

◆憲法改正反対、9 条守れ、総がかり行動

四月十九日は、国会議事堂正門前での憲法改悪への抗議行動、2015 年の安倍政権による新安保法制改正の成立に反対して、毎月十九日に開催されている集会に後援会の皆さんと行ってきました。

これまで議員として集会での挨拶もしていましたが、今回は皆さんと一緒に参加、前後援会長の九十七歳の芝さんを先頭？に、ちよつとシニアな一団ですが、老いも若きもみんなまで反対しないと、とんでも無いことになります。

この間、高市総理の台湾有事発言やトランプ大統領とイスラエルのイラン攻撃で、俄かに集団的自衛権の行使が論じられるようになりましたが、到底容認できません。そもそも軍事によらない紛争解決は日本国憲法の最大の柱、そして国際法違反の戦争に協力することなどあり得ません。集団的自衛権は、日米同盟を理由に安易に認められるものでもありませんし、専守防衛を定めた 9 条は重要です。



2026. 4. 19 総がかり行動

◆令和八年度予算成立、最大規模

四月七日、令和八年度の予算が成立しました。12.3 兆円という戦後最大規模ですが、既に指摘されている通り審議時間は極めて不十分で、おまけに停戦合意も不確実なイラン戦争等、不穏な中東情勢に対しての生活防衛の為の予算は含まれません。

質疑の中でも現在進行形している事態への補正予算を早急に組むのか？と問われても、予算が成立したばかりだから、と取り合わない首相、国民生活や経済を本気で守る気はないと思えました。併せて 2026 年四月からは新たな防衛増税が始まります。岸田政権時代に遡る安保関連三文書で方向性の出された増税ですが、国民生活はそっこの中で、防衛増税は予定通り行い、一生懸命働いて、少ない収入の中からも戦争の為に税金納めるなんて、絶対イヤという声が若者からも上がっています。

4月から防衛増税が始まる		税収増額
4月	法人税 法人税額から500万円を差し引いた金額に4%を上乗せ	8690億円
	たばこ税 4月と10月に加熱式の税率を引き上げて紙巻きと同一に。令和9年4月から1年ごとに計3回、1本あたり0.5円ずつ引き上げ	2120億円
9年1月	所得税 所得税額に1%上乗せ。復興特別所得税を1%引き下げるが、課税期間は延長	2560億円
計		1兆3370億円

※税収増額は財務省の試算による。変更後の税制が1年間続いた場合の平年度ベース

2026. 3. 28 産経新聞より